

庄内砂丘地域におけるさといも早掘り栽培に適した定植時期と灌水方法

山形県庄内総合支庁産業経済部農業技術普及課産地研究室

研究のねらい

さといもは、暖かい気候での栽培が適しており、本県の主産地の村山地域では、定植は5月以降となり、関東以西の主産地と比べて収穫期が遅く、9月中旬から本格化する。一方、庄内砂丘地域は、早春の霜害が少なく、耕起、畝立て作業も容易なため、さといもの早期定植が可能である。そこで、さといもの8月下旬から9月初旬の収穫（以下「早掘り栽培」という。）に適した定植時期および灌水方法を明らかにした。

研究の成果

- ①品種「大和早生」を用いたさといも早掘り栽培に適した定植時期は4月中旬であり、商品収量が最も高く、1個当たり芋重も大きくなる（図1、図2A）。
- ②チューブによるマルチ内灌水は、通路に灌水する畝間灌水と比較して、収量性が高い。商品収量は、8月下旬に収穫した場合には700kg/10a程度、9月初旬に収穫した場合には1,700kg/10a程度が見込まれる（図2B）。





月 旬	3			4			5			6			7			8			9							
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下					
作業	△			○			→																		□	□
	催芽			育苗			マルチ内灌水																		収穫	
生育																										
	4月上旬			4月中旬（定植）			7月下旬			8月下旬（収穫）																

図1 早掘り栽培体系

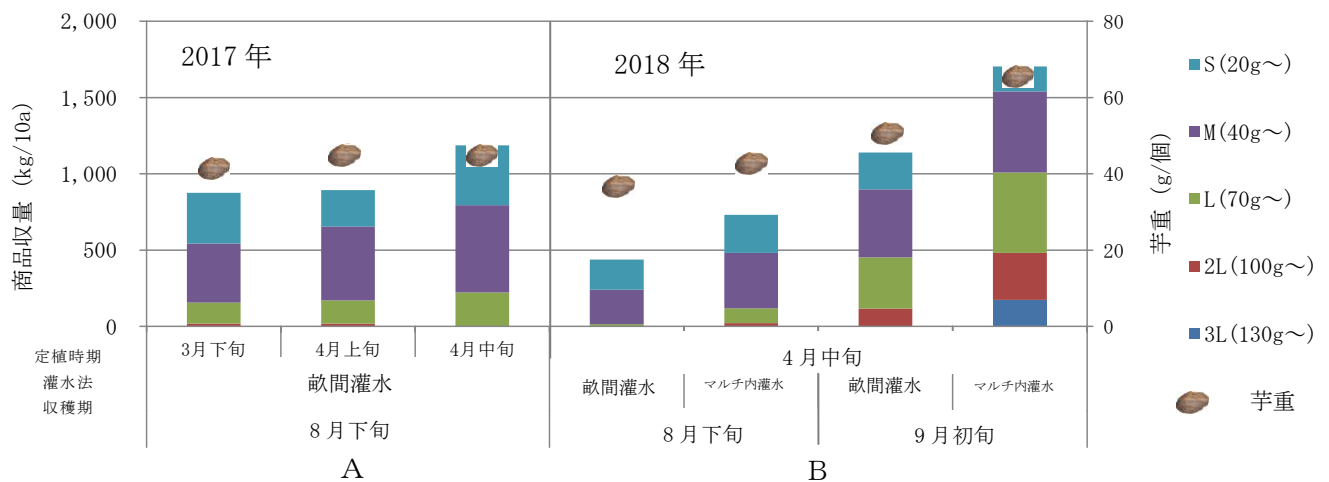


図2 定植時期（A）、灌水方法（B）が商品収量に及ぼす影響

問い合わせ先：園芸研究担当 Tel:0234-91-1256 e-mail:ysyonaisanchi@pref.yamagata.jp